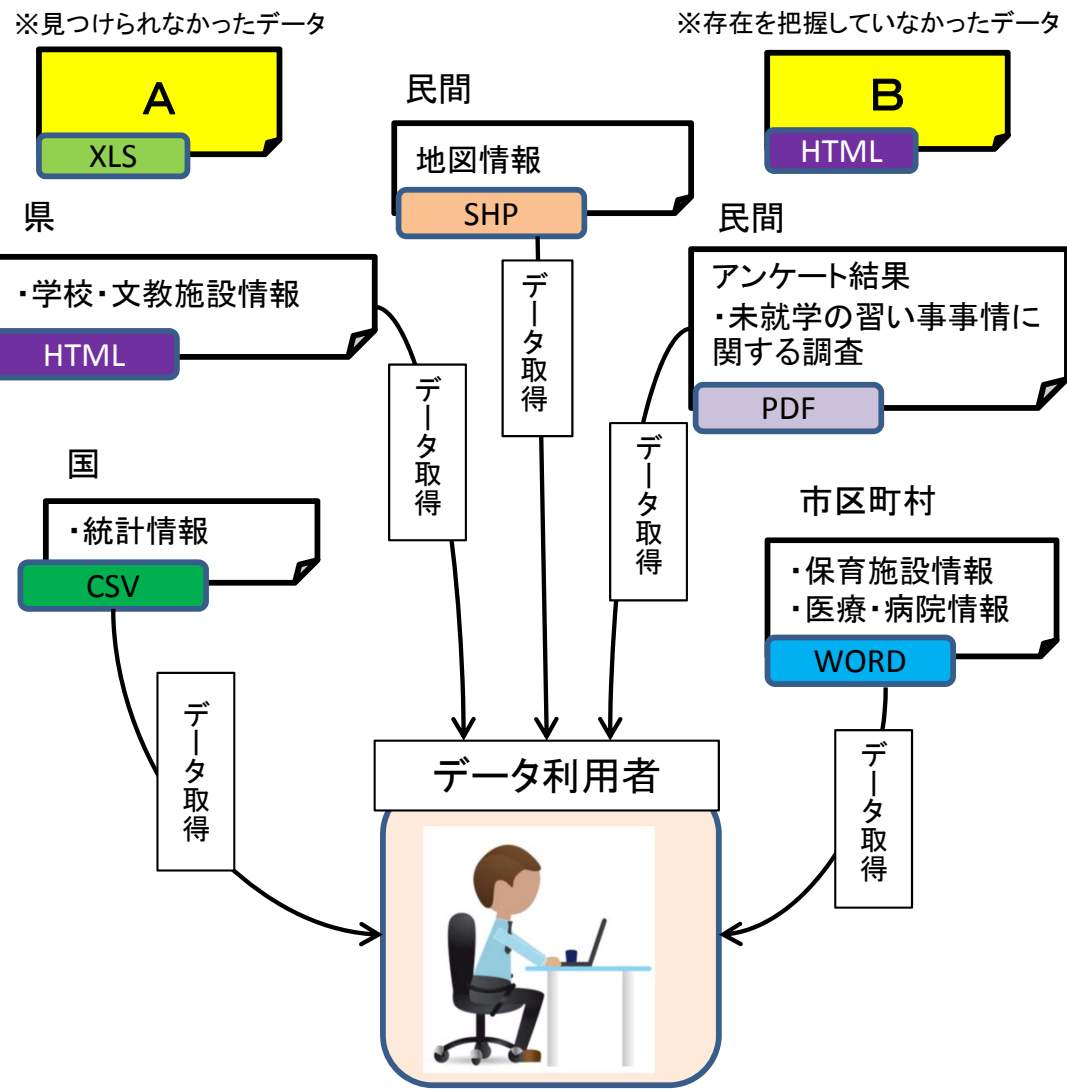


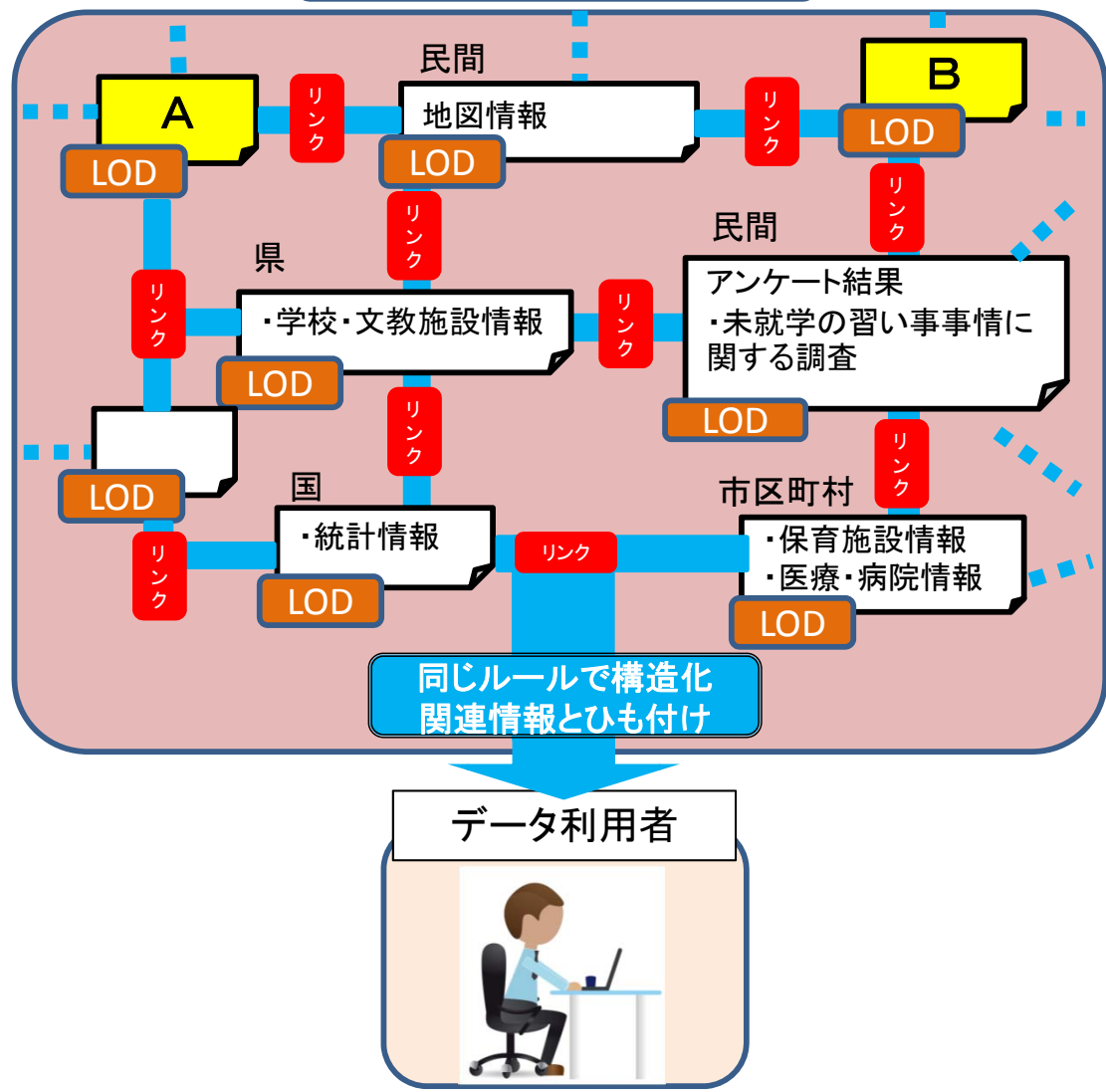
LODの普及で変わる情報の流通・取得環境

(例) 未就学児童に関するデータを取得しようとした場合

現状



LODの普及後



データごとに各々の掲載場所に検索・取得しに行かなければならず、必要とするデータの取得漏れが生じる可能性がある。
 データ形式も様々のため、データ処理に時間を要する。

LODの場合、相互に関係付けられているため、認識できなかったデータも合わせてデータを漏れなく、1回の検索で迅速・効率的に取得することが可能。
 データ形式も一律のため、データ取得後の処理が短時間・的確に実現。

LODの活用事例の御紹介

図書館検索 「カーリル」

- 全国の約6,000以上の図書館の蔵書情報と貸出状況を簡単に検索できるサービス

<https://calil.jp/>

- 国立国会図書館が提供する図書館LODを活用



「横浜MAPS」

- 横浜市内の身近な観光情報をリアルタイムで総合的に提供することで、横浜の魅力を感じることができるアプリを提供

http://www.atr-c.jp/burari/product/localtown_area/yokohama.html

- 公益財団法人横浜市芸術文化財団が提供するヨコハマ・アートLODを活用

